

中等教育研究開発室年報 第33号 (2020年3月31日発行) 別冊電子版
2019年度 授業実践事例

英語科 中学校第1学年

自律的に探究できる生徒の育成を目指して

授業者 井長 洋

(教育研究大会 公開授業)

広島大学附属中・高等学校

中学校 外国語科（英語）学習指導案

指導者 井長 洋

日時	令和元年 11 月 29 日（金） 第 2 限 10:35～11:25
場所	第 1 研修室
学年・組	中学校 1 年 C 組 45 人（男子 24 人 女子 21 人）
単元	Lesson 8 School Life in the USA NEW CROWN ENGLISH SERIES（三省堂）
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在進行形の用法を理解し、正しく使用することができる。（知識・技能） 2. 読んだ内容を自分なりの言葉でまとめ、自分の意見も含めて述べることができる。（思考・判断・表現） 3. 間違えることを恐れず、意欲的に言語活動に取り組む。（主体的に学習に取り組む態度）

指導計画（全 7 時間）

- 第一次 言語材料の理解 2 時間
- 第二次 本文の内容理解・定着 3 時間
- 第三次 本文内容のリテリング 2 時間（本時 6/7）

題目 自律的に探究できる生徒の育成を目指して

本時の目標

1. 本文の内容を自分なりの言葉でまとめ、自分の意見も含めて述べるができる。（思考・判断・表現）
2. 間違えることを恐れず、意欲的に言語活動に取り組む。（主体的に学習に取り組む態度）

本時の評価規準（観点／方法）

1. 本文の内容を自分なりの言葉でまとめ、自分の意見も含めて述べるができる。（思考・判断・表現／パフォーマンステスト（後日））

本時の学習指導過程		
学習内容	学習活動	指導上の留意点
1. Warm-up ・1分間スピーチ (7 min)	<ul style="list-style-type: none"> ・Today's Teacher の生徒がトピックを選ぶ。 ・選ばれたトピックについて1分間準備。 ・ペアで一方が1分間スピーチ、他方がスピーチの語数を数える。その後、役割を交代。 ・Today's Teacher が全体の前でスピーチ。 ・スピーチをプリントに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が活動に参加しているかを確認する。 ・スピーチ中に教師が気づいたグローバルエラーはその場で、または全体の場でフィードバックする。

<ul style="list-style-type: none"> • Song (3 min) 	<ul style="list-style-type: none"> • 英語の歌を歌う。 	
<p>2. Review</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在進行形の復習 (4 min) • 単語の練習 (6 min) • 日英対訳シート (10 min) 	<ul style="list-style-type: none"> • 動画を見て、人物等の動きを英語で表現する。 • 10 文言えたら座る。 • 単語シートを使って、ソロまたはペアで練習をする。 • ①単語を読む, ②英語から日本語(口頭), ③日本語から英語(口頭), ④音読筆写, ⑤日本語から英語(書く), ⑥例文作成, から活動を選ぶ。 • 本文の日英対訳が印刷されたプリントを使ってペアまたは個人で練習。 • ①ペアでリピート, ②英→日, ③日→英, ④英→日→英, ⑤Read and Look-up, ⑥ Dictation, ⑦音読筆写, 等の活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 表現しなかったのにできなかったものについて辞書で調べさせる。 • 全員が活動に参加しているかを確認する。 • 例文作成について, おもしろいものは全体で紹介する。 • 全員が活動に参加しているかを確認する。
<p>3. Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> • Retelling 準備 (4 min) • Retelling (15 min) 	<ul style="list-style-type: none"> • 本文の内容を 2 分間で説明できるよう個人で練習する。 • 自分で用意したイラストやキーワードを用いて, ペアで本文の内容を Retelling (2 min×2)。 • ペアで互いにアドバイスをする。またアドバイスを受けて, 内容を修正する。(2 min) • ペアを変えて再度 Retelling (2 min×2) • 数名が全体の前で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> • Retelling に使うイラストやキーワードも準備。最初に設定した問いに対する自分の答えも述べられるようにしておく。 • 全員が活動に参加しているかを確認する。
<p>4. Consolidation (1 min)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 次回の Retelling のテストについて連絡 	
<p>備考</p>		

NEW CROWN 1 Lesson 8 New Words & Phrases

	英語	日本語	ペアで			個人で	
			発音60秒	口頭 英→日 3分	口頭 日→英 3分	音読筆写(発音しながら書き写す) 目標6分	書く 日本語→英語 目標6分
1	life	名 生活					l
2	student	名 生徒					s
3	language	名 言語					l
4	language arts	名 言語技術					l a
5	read	動 読む					r
6	speech	名 スピーチ					s
7	make	動 作る					m
8	poster	名 ポスター					p
9	group	名 グループ					g
10	in a group	連 グループになって					i a g
11	talk with ~	連 ~と話す					t w ~
12	listen to ~	連 ~を聞く					l to ~
13	write	動 書く					w
14	letter	名 手紙					l
15	learn	動 学ぶ					l
16	stand	動 立つ					s
17	by	前 ~のそばに					b
18	door	名 戸					d
19	drink	動 飲む					d
20	water	名 水					w
21	cousin	名 いとこ					c
22	Spanish	名 スペイン語					s
23	people	名 人々					p
24	noodle	名 麺					n
25	brush	動 みがく					b
26	teeth	名 toothの複数形					t
27	tooth	名 歯					t
28	put on	連 着る					p o
29	take off	連 脱ぐ					t o
30	shoe	名 くつ					s
31	car	名 車					c
32	open	動 あける					o
33	close	動 閉じる					c
34	window	名 窓					w
35	song	名 歌					s
36	dance	動 踊る					d
37	dear	形 親愛なる~					d
38	work	動 働く					w
39	as	前 ~として					a
40	volunteer	名 ボランティア					v
41	hospital	名 病院					h
42	tell	動 話す					t
43	story	名 物語					s
44	weekend	名 週末					w
45	child	名 子ども					c
46	last	形 最後の					l
47	football	名 アメリカンフットボール					f
48	strong	形 強い					s
49	track and field	名 陸上競技					t a f
50	sprint	名 短距離走					s
51	look forward to ~	連 ~を楽しみに待つ					l f t ~
52	e-mail	名 Eメール					e
53	send	動 送る					s
54	bus	名 バス					b
55	bike	名 自転車					b
56	How far ~?	連 どのくらい遠く?					H f ~?
57	only	副 たった					o
58	kilometer	名 キロメートル					k
59	then	副 それなら					t

英語	英語	日本語
1	life	
2	student	
3	language	
4	language arts	
5	read	
6	speech	
7	make	
8	poster	
9	group	
10	in a group	
11	talk with ~	
12	listen to ~	
13	write	
14	letter	
15	learn	
16	stand	
17	by	
18	door	
19	drink	
20	water	
21	cousin	
22	Spanish	
23	people	
24	noodle	
25	brush	
26	teeth	
27	tooth	
28	put on	
29	take off	

	英語	英語	日本語
30	shoe		
31	car		
32	open		
33	close		
34	window		
35	song		
36	dance		
37	dear		
38	work		
39	as		
40	volunteer		
41	hospital		
42	tell		
43	story		
44	weekend		
45	child		
46	last		
47	football		
48	strong		
49	track and field		
50	sprint		
51	look forward to ~		
52	e-mail		
53	send		
54	bus		
55	bike		
56	How far ~?		
57	only		
58	kilometer		
59	then		

Sight Translation Sheet (No.1)

<Part 1>

These are pictures of Ms White's classroom.

The students are studying language arts.

Look.

This girl is reading.

This boy is practicing a speech.

These students are making a poster

in a group.

<Part 2>

Paul: This is Mike.

He's my cousin.

Kumi: Is he studying English?

Paul: No, he isn't.

Kumi: What is he studying?

Paul: He's studying Spanish.

Many people speak it in the USA.

<Read>

From: Lisa Smith

To: My Friends in Japan

Subject: My Classmates

Dear friends,

Here are some pictures of my friends and me.

I am in the first picture.

I am working as a volunteer

at a hospital.

I am talking with the woman.

She often tells interesting stories.

Many students work as volunteers

after school or on weekends.

Look at the next picture.

Meg is reading a book with a child.

Look at the last picture.

Kevin is playing football.

He plays on the football team in the fall.

The team is very strong.

In the spring

he is on the track and field team.

He runs sprints.

I look forward to your e-mail.

Send some pictures of your classmates

at Midori Junior High School.

Your friend,

Lisa

<Let's Talk 8>

Raj: How can we go to Midori Park?

Kumi: We can go by bus or bike.

Raj: How far is the park?

Kumi: Only about two kilometers.

Raj: I see.

Then let's go by bike.

<Part 1>

これらはホワイト先生の教室の写真です。

生徒たちはランゲージアーツ(言語技術)を勉強しています。見てください。

この女の子は本を読んでいます。

この男の子はスピーチの練習をしています。

こちらの生徒たちはポスターを作っています

グループで。

<Part 2>

ポール： こちらはマイクです。

彼は私のいとこです。

久美： 彼は英語を勉強しているのですか。

ポール： いいえ、ちがいます。

久美： 彼は何を勉強しているのですか。

ポール： 彼はスペイン語を勉強しています。

アメリカでは多くの人々がそれを話します。

<Read>

差出人： リサ・スミス

宛先： 日本の友達

件名： 私のクラスメートたち

親愛なる友達へ

ここに私の友達と私の写真が何枚かあります。

私は最初の写真に写っています。

私はボランティアとして働いています

病院で。

私は女性と話をしています。

彼女はよくおもしろい話をしてくれます。

多くの生徒がボランティアとして働きます

放課後や週末に。

次の写真を見てください。

メグが子どもと本を読んでいます。

最後の写真を見てください。

ケビンがアメリカンフットボールをしています。

彼は秋にはアメリカンフットボール部でプレーします。

そのチームはとても強いです。

春には

彼は陸上部に所属します。

彼は短距離を走ります。

私はあなたのメールを楽しみにしています。

あなたのクラスメートの写真をいくつか送ってください

緑中学校の

あなたの友達

リサより

<Let's Talk 8>

ラージ： みどり公園にはどうやったら行けるのかな。

久美： (私たちは) バスか自転車で行けるわ。

ラージ： 公園はどのくらい遠いの？

久美： たったの2キロくらいよ。

ラージ： なるほど。

じゃあ自転車で行こうよ。

Retelling 評価シート New Crown 1 Lesson 8

1年 《組》 組 《番》 番 名前 《名前》 (《ひらがな》)

《内容》

3	本文の内容を十分に説明している。	
2	本文の内容をほぼ説明しているが、情報にやや不足がある。	
1	本文の内容を半分程度しか説明できていない	

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイト先生の授業（言語技術、読書、スピーチ、ポスター、それぞれバラバラ） <input type="checkbox"/> ・ポールと久美の会話（いとこのマイク、スペイン語の授業、多くの人が話す） <input type="checkbox"/> ・ボランティア（放課後や週末、リサは病院、メグは子どもの相手） <input type="checkbox"/> ・ケビン（秋にアメフト、春に陸上・短距離、複数スポーツ） <input type="checkbox"/> |
|---|

《表現》

3	語彙や表現に誤りがなく、本文を自分の言葉で言い換えるなどの工夫がみられる。	
2	語彙や表現に誤りがやや目立つ or 誤りがないが英語は本文をそのまま使ったものである。	
1	語彙や表現に誤りが多く、内容がほぼ伝わらない	

《My Question》

3	質問の内容に独創性があり、その答えを自分なりに探し求めている。	
2	質問の内容がありふれている。答えが的確でないものもある。	
1	質問の内容が質問として無意味である。または答えが的確でない。	

《Teacher's Question》

1	問いに対する正しい答えとなっている。	
---	--------------------	--

《Mapping Sheet》

-1	Mapping Sheet に文字情報が多すぎる。イラストが少ない。	
----	------------------------------------	--

Part 1 / Part 2

Read

My Question:

The answer to My Question:

1. 授業説明

「探究型の教育」とは、「自ら学び自ら考える力の育成」（文部科学省，2007）と定義されるが、「自ら学び自ら考える力」を日々の授業で育む方法の1つに「学習ストラテジー指導」が挙げられる。学習ストラテジー指導は、「自律した学習者を育てること」＝「メタ認知を持った学習者」を目標としている。「メタ認知」には、「メタ認知的知識」と「メタ認知的活動」があるが、授業の中で生徒たちが「メタ認知的知識」を得たり、「メタ認知的活動」を体験したりするような場面を作ることが、「メタ認知を持った学習者」を育てることにつながると考えた。具体的には「問いを立てる」、「学習を自己管理する」、「イメージを利用する」、「言い換える」、「要約する」、「キーワードを使う」といった活動を生徒たちが体験できるように授業を構成した。また、本授業を考えるにあたり、以下のキーワードで挙げられる内容も参考とした。

- ・維持リハーサルと精緻化リハーサル・・・単純な繰り返しを維持リハーサル(maintenance rehearsal)、意味を自分なりに考えたり情報どうしを互いに関連づけたりすることを精緻化リハーサル(elaborative rehearsal)という。記憶の定着をよくするためには、後者の方が効果的とされる(三宮, 2018)。
- ・自己関連づけ効果 (self-reference effect)・・・「自分に当てはまるか」と考えることが記憶を助けるというもの。この知見を少し拡張すると、自分と関連づけることが記憶に役立つとも考えられる(三宮, 2018)。
- ・自己生成効果 (self-generation effect)・・・自分で考えつくり出した情報は、単に他者から与えられた情報よりも記憶に残りやすい(三宮, 2018)。
- ・二重符号化理論 (dual-coding theory)・・・言語と視覚イメージなど、言語情報と非言語情報の2通りで情報処理を行うと、記憶に残りやすくなる(三宮, 2018)。
- ・SQ3R法・・・Robinson (1961, cited in 三宮, 2018) が提唱するテキスト読解の方法。S(survey: 学ぼうとするテキストにざっと目を通して要点を把握), Q (question: 学ぼうとする内容に関連した問いを考える), R (read: 先に考えた問いに答えられるようにテキストを読む), R (recite: テキストを読み終えた後、テキストを見ずに自分の用意した問いに答える), R (review: テキストの各パートの要点を俯瞰的に見て統合し関連づける)といった手法を取る。これを取り入れることで、テキストの理解・記憶を促すことができるとされる。(三宮, 2018)
- ・自己決定理論 (Self-Determination Theory)・・・強制されて何かをするよりも、自分自身の意志でやる方がより強く動機づけられること(ドルニエイ, 2005)。この理論によれば、選ぶ自由や選択肢をもつ自由が動機づけの必須条件となり、行動に対する自己決定性の高さが学業成績やパフォーマンス、精神的健康等に影響を及ぼすとされる。「自分で自由に選べる」と感じる事がやる気を高めることが研究でも実証されている(三宮, 2018)。
- ・インプットモデルへのシフト・・・言語習得に必要な最低条件は「インプット」+「アウトプットの必要性」である(白井, 2008)。言語習得はかなりの部分がインプットを理解することによって起こる。アウトプットそのものは自動化の役割があるが、言語習得そのものにさほどプラスにはならない(白井, 2012)。

<引用文献>

白井恭弘. 2008. 『外国語学習の科学』 岩波新書

白井恭弘. 2012. 『英語教師のための第二言語習得論入門』 大修館書店

三宮真智子. 2018. 『メタ認知で〈学ぶ力〉を高める 認知心理学が解き明かす効果的学習法』 北大路書房.

ドルニエイ・ゾルタン(著). 米山朝二, 関昭典(訳). 2005. 『動機づけを高める英語ストラテジー35』 大修館書店

文部科学省. 2007. 「初等中等教育分科会(第46回)・教育課程部会(第53回)合同会議 配付資料」

